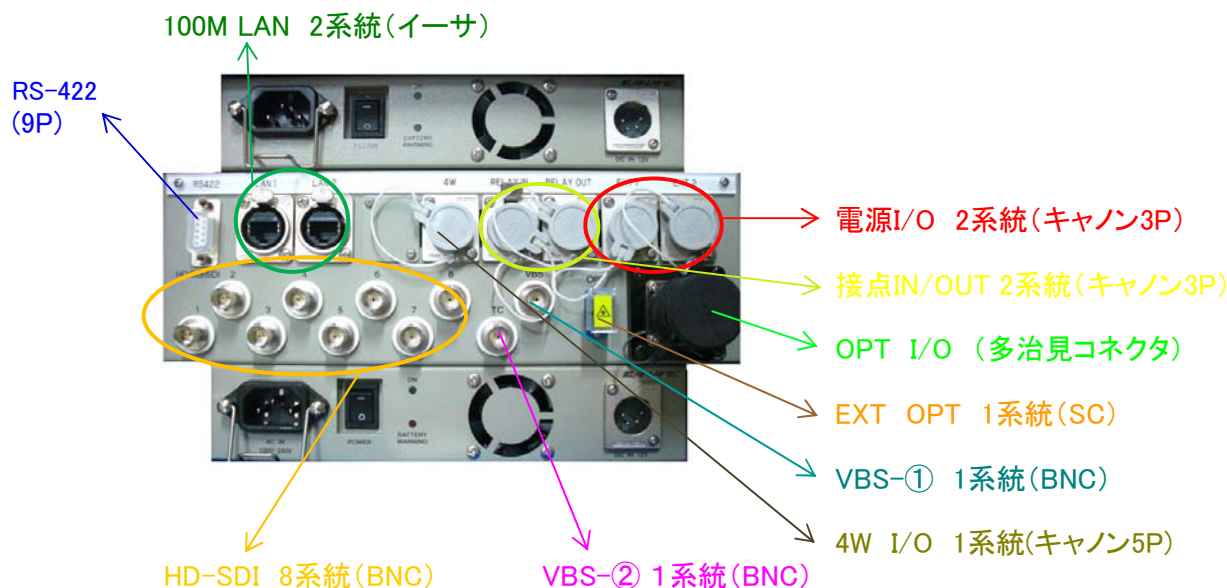


新規導入機材

LEANARE™

OPT-16TR

映像/音声/I P等の多重光伝送装置 光カメラケーブル（多治見コネクタ）にて運用



入出力

- ・HD/SD-SDI × 8 (BNC) : 23.98PsFや720P等1.5GまでのSDIならあらゆる信号が伝送可能。
: 各入出力基盤にはリクロッカー、イコライザー機能が備わっています。
: エンベデッドオーディオの伝送も可能です。
- ・VBS-① × 1 (BNC) : アナログコンポジット、TC、BB、3値シンクの信号の伝送が可能。
- ・VBS-② × 1 (BNC) : アナログコンポジット、TC、BBの信号の伝送が可能
- ・イーサネット × 2 (RJ45J) : 100BASEのイーサネットに対応。10BASEは非対応です。
- ・RS-422 × 1 (9Pメス) : 伝送速度最大1MbpsまでのRS-422信号を伝送
* 付属の9Pクロスケーブルを必ずどちらかの側に接続して下さい。信号が認識されません。
- ・4W I/O × 1 (キャノン5Pオス) : 音声ライン(アンバランス)のIN/OUTの1対が伝送可能
キャノン5P→キャノンオス(OUT)/キャノンメス(IN)ケーブルを付属しています。
- ・RELAY I/O × 1 (IN/キャノン3Pメス OUT/キャノン3Pオス) : グランド共通の接点運用が可能であればIN×2、OUT×2の入出力が可能です。
* 電源を含んでいる接点は入力しないで下さい。基盤が破損します。
キャノン3Pメス→キャノン3Pオスパラケーブル、
キャノン3Pオス→キャノン3Pメスパラケーブルを付属しています。
- ・EXT × 2 (キャノン3Pオス) : カメラケーブルの電源線を使用していますのでクリアカム等の電源を含む信号等でも伝送可。
* 光ではなく電源線の部分を使用しているためケーブルの長さによって減衰します。
- ・OPT × 1 (SCコネクタ) : CAMの2芯目に繋がっており、拡張用として運用できます。
* 背面部のつなぎ替えによりCAMケーブルでなくこのSCコネクタにてOPT-16TRを繋ぐ仕様も可能です。
- ・CAM × 1 (多治見コネクタ) : OPT-16TRを繋ぎます。

内容物

- ・本体 × 2
- ・ACケーブル × 4
- ・9Pクロスケーブル × 2
- ・キャノン3Pメス→キャノン3Pオスパラケーブル × 2
- ・取説
- ・キャノン3Pオス→キャノン3Pメスパラケーブル × 2
- ・キャノン5P→キャノンオス / キャノンメスケーブル × 2
- ・SCケーブル予備2種 × 4
- ・SC/LCケーブルクリーナー × 1
- ・SCコネクタクリーナー × 1
- ・LCコネクタクリーナー × 1

主な仕様や特徴は裏面に記載しております

Tel:03-5684-0888

■主な仕様

- ・外形寸法 : ケース入り時 / 322(幅) × 200(高さ) × 420(奥行き) * 前面のフタはハズした状態
: ケースからはずした状態 / 263.4 × (幅) × 178(高さ) × 320.8(奥行き) 共に突起物を含む
* ケースからはずす際、中段のラックの仕様が特殊になっています。取説の図面を見ながらはずして下さい。
- ・重量 : 約12kg 専用ケースを含む。
- ・消費電力 : 下段部 / 約20W エンデューラーHL9 × 1で約250分の駆動が可能
: 上段部 / 約10W エンデューラーHL9 × 1で約500分の駆動が可能
* 電源部はAC100VでもDC12V～18Vでも運用可能です。ACとDCの両方を接続した際にはACがメインになり2重化電源になります。ACが断になった場合にはシームレスにDC電源に切り替わります。
- ・ロスバジェット : 全ての機能を有効にするバジェット・・・-8dB以内
SDI基盤のロスバジェットが-12.5dB以内、LANが-22dB以内、VBSが13.5dB以内、それ以外が-8dB以内です。
よってロスバジェットが幅が狭い基盤から信号が断になって行きます。
- ・ディレイ : ありません
* システムディレイはナノセックレベルですので考慮する必要がありません。

■主な特徴や運用上の注意点等

- ・ハーフラック設計のコンパクトボディながら様々な信号の伝送が可能です。
- ・OPTのSCコネクタを使用することにより当社MD006等の伝送装置との連結が可能。
1本のカメラケーブルで更なる信号の伝送が出来ます。
- ・当社保有ローランドのREACシステム、S-4000をLAN入出力に繋がれば、本線品質のアナログオーディオ40chの伝送が可能になります。S-0808であれば16chのアナログオーディオを扱えます。
- ・RX / TX基盤の組み換えはユーザーが任意に、かつ簡単に行えます。ただし各基盤のスロット位置は固定になっています。
抜き差しの際はテレコにするイメージです。注意点はそれだけです。
- ・超低遅延なのでOPT-16TRを経由していない機器等とのディレイ量を気にせず運用が可能です。
- ・本機からのカメラケーブルを他の機器に入力したり、他の機器からのカメラケーブルを入力されたりすると本機もしくは相手の機器を破損する恐れがあります。特にEXTの部分にクリアカム等を接続しているときは十分注意して下さい。
- ・EXT入力にとクリアカム等と音声信号等を混在するとノイズが入る恐れがありますので御注意下さい。
EXT1はEXT2より太いケーブルを使用しているのでEXT1の方が減衰率が低くなります。
- ・RELAY IN/OUTはスイッチャー等に多い接点共通出力の物であればキャンノン3P1つで2つの接点を送れます。
先バラケーブルは付属しています。
- ・SDIの入力端子にはリクロック機能が付いています。出力するときには減衰の無い状態になっています。
- ・OPT-16TRは光16ch多重ユニットを内蔵しています、基盤をマウントするユニットは2つに分かれているため電源が2個必要になります。下段部の電源にてSDI × 8ch。それ以外の信号を上段部の電源で管理します。
- ・イーサコネクタに差すLANのケーブルはクロスでもストレートOKの自動認識となります。



LAN接続

+アナログオーディオ40chの伝送が可能
* 8ch単位での基盤入れ替えが可能



LAN接続

+アナログオーディオ16chの伝送が可能
* TX 8ch / RX 8ch固定



SC接続

+SDI × 8chの伝送が可能 * 006がメイン機になります。

ご質問や資料請求等は
ティスマン・サービスまで連絡をお願い致します

03-5684-0888

